



あさこ さん

人体への農薬の影響は？

「農薬は体に良くないという話を聞いたことがあります。本当ですか？」

人体への影響を農作物と農業者の安全性の両面から見てみましょう。

① 農薬を適正に使用して生産された農作物を食べる場合

ある農作物の栽培で使用可能な「農薬の薬剤名」や「使用回数」、「希釈倍率」、「使用時期」などの農薬使用基準は、農薬を使用して生産された農作物を摂取した際に短期的または長期的に人体に影響がないようさまざまな試験を行い定められおり、**農薬を適正に使用して生産された農作物を食べる場合**、人体への影響はないと考えられます。したがって、消費者に安全な農産物を提供するために**必ず防除基準に従った農薬使用を行い**、また、**防除日誌へ確実に記入を行う**ようにしましょう。

② 農薬を散布する農業者の安全について

農薬の散布時に薬液が目に入ったり、皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。また、農薬の吸入による農薬中毒事故も発生しています。こうしたことを防ぐために「**農薬用マスク**」や「**保護メガネ**」、「**保護衣**」を着用し、安全な農薬散布を行いましょう。



普及指導員



あさこ さん

トマト栽培での施肥について

「トマト栽培を行う際、土づくりで石灰を多く入れても良いですか？」

「牛ふん堆肥はたっぷり入れても良いですか？」

① 石灰の投入量について

トマトの果実で発生する「尻ぐされ果」の発生要因の1つに石灰欠乏があるとされていますので、石灰の投入はこうした障害の発生予防の効果が期待できます。ただし、一般に用いられる石灰資材の「**苦土石灰**」は土壌 pH を上昇させる効果があるため、散布にあたっては土壌診断などにより土壌 pH を確認し散布を行いましょう。

② 牛ふん堆肥の投入について

牛ふん堆肥は遅効性肥料として以外に土壌改良資材としての機能も持っていますので、投入することは土づくりに非常に効果的です。ただし、未熟な堆肥を投入すると植物の生育に逆効果となりますので、必ず完熟した堆肥を利用しましょう。

なお、トマト栽培での堆肥投入量の目安は、200kg/アールです。



普及指導員

あさつゆ連絡

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

技術事項作成協

上小農業改良普及センター（小林（裕））

電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161